

木材を保存させる唯一無二の方法

緑の柱しかない。

「緑の柱」は、国産無垢材に薬液の加圧注入処理を施すことで、

非常に高い防腐・防蟻効果を長期間にわたって持続させる木材です。

コシブプレザービングがご提供するハウスガードシステムは、

この「緑の柱」を住宅の主要構造部材に用いた

新築時の耐震性能を保ち続ける家づくりシステム。

現状考えられる最高レベルの木材保存の方法です。

薬剤の浸透率

塗布処理は表面に薬剤を塗りつけるだけなので、その浸透率は深さ1mmほどにしかありません。これに対して、加圧注入処理は木材の表面から1cm以上の深さまで薬剤が浸透します。薬剤は木材内部深くまで浸透しているため、シロアリが入ってこられないバリアをつくれます。しかも、効果・効能も、半永久的に持続します。木材の深部に至る薬剤の浸透率と使用量の差が、加圧注入処理と塗布処理の効果の差に、そのままつながっているのです。



左・加圧注入薬剤の浸透状態：木材の辺材部分まで深く浸透
右・薬剤を塗布した後の浸透状態：木材の表面部分のみ浅く浸透

加圧注入処理の手順



木材内の圧力と、周囲の薬液（木材保存剤「マイトレックACQ」）との間に高い圧力差をつくりだし、薬液を注入する処理方法です。世界的に最も多く採用されている方法で、薬液の浸透に優れた処理方法です。

※使用する薬剤は JIS K1570、処理方法は JIS A9002（JISは日本工業規格）